

沖縄だより

<http://peace.forum.com/okinawa-branch>

No. 4

2017年 3月22日

発行平和フォーラム沖縄事務所

tel/fax:0980-43-0740

mail:peaceforum.okinawa@gmail.com

集中行動日の水曜日に資材・工事車両の搬入を阻止する！

3月22日（水）晴。7時30分にキャンプ・シュワブ到着。毎週水曜日は集中行動日で、各地域の「島ぐるみ会議」がマイクロバスなどでゲート前に集合。50分からゲート前で座り込み、集会開始。

8時半頃には200人近くに膨らむ。通常は機動隊のカマボコや警備車でゲートを封鎖しているが、その車間や前に座り込み抗議行動をする。人数が少ないと機動隊が出てきて私たちを排除（ごぼう抜き）して、基地のフェンスとカマボコや警備車で仕切った「囲い」に監禁し、資材や工事用車両の全てが搬入されるまで規制を解かない。そのため国道329号は毎回大渋滞に陥る。通勤や通学に間に合わないことも理由に、工事再開後は7時前から8時半過ぎになっている。この状態を見た防衛局・警察は今日の計画を見合わせた模様だ。この体制が週に2、3回出来れば、大幅な工事遅延で新基地建設は断念せざるを得ない。米上院歳出委員会が2016年4月に、在沖米海兵隊のアジア太平洋地域における分散移転計画について調査を命じたことが分かった。米軍普天間飛行場の移設に伴う辺野古の建設の遅れが影響し、米国防省に普天間の継続使用や嘉手納基地への暫定移転など代案の検討も継続するよう提言しているとの話。新基地建設を巡る現状について「地元で続く抗議、現在及び今後の訴訟、地元自治体の反対、工事の度重なる遅れは、同計画の未来を否定的に映し出している」と指摘。16年の2月の上院軍事委員会で、ハリス太平洋軍司令官が「こうした要因が計画の完了を2年遅らせ少なくとも25年まで完了しないと証言した」と報道された。南シナ海での中国の軍事力が拡大しており、海兵隊の分散移転計画を着実に履行しなければならない。新基地建設の遅れが在沖海兵隊のグアム、ハワイ、オーストラリアなどへの移転に影響しないよう対策を立て、予算も管理する必要があると説明している。 (S)



【行動日程】

3.25（土） 辺野古新基地建設反対県民大集会！

午前11時から キャンプ・シュワブ前 3000人規模